

■展示内容と作品について

古地図にはそれが作製された時代の姿がよく映し出されており、地理的、歴史的に貴重な情報をわたしたちに提供してくれます。

また、新旧の地図を比較することにより、その地域の変遷を読み取ることができるとともに、ひとびとの地理的視野の広がりや土地への認識、表現や製作方法の進歩なども理解することができます。

昨年度までは日本に目を向け、国内各地の都市の変遷を紹介してきましたが、今回の展示ではアジアに目を向けて、第2次世界大戦後に新興工業経済地域の代表として急速に発展してきたアジアの諸都市を取り上げ、戦前と戦後に作製された新旧の都市図を比較することにより、その変遷を紹介する内容にしました。



「昭南港（新嘉坡）市街地図」
昭和17（1942）年発行

取り上げた都市は、北京・上海・香港・ソウル・台北・シンガポール等、東アジアから東南アジアかけての15都市です。戦前に作製された古地図と現代の都市図の計33図（北京・上海・ソウルは各3図展示）

で各都市を比較していただけるように展示しました。

展示した都市図の中で最も古い時代に発行されたものは明治8（1875）年の北京です。北京については清国、中華民国、中華人民共和国と各時代の地図を展示しました。また、歴史を感じさせる日本語読みの地名を付した地図もあります。日本の都市の変遷と同様に、アジアの都市の変遷についても楽しんでいただけたと思います。



展示風景